

榛西小だより

文責 校長

教育目標
 人権尊重の精神を基盤として、自ら学び、豊かな生活を創る、心身ともにたくましい子の育成

- めざす児童像**
- ・よく学びよく考える子
 - ・自分も人も大切にする子
 - ・明るく健康でたくましい子



1年間のまとめをしよう — 3学期始業式校長講話から —

3学期の始業式は、振り返りの時期に1年間のまとめをしようというテーマでお話をしました。

本年度の初めにみんなで頑張ろうとお話した「自分のいいところをたくさん見つけよう」ということと、こんな児童になってほしいという3つのこと、「すてきな言葉」「ねばり強く考える」「元気に遊ぶ」を、まとめの時期にもう一度振り返って確かめようと話しました。

さて、宇陀市内の学校では、年に2回、「生活行動・学習活動調査」を実施しています。榛原西小学校では昨年の調査で、「自分にはよいところがあると思いますか」という項目で肯定的な答えをした児童の割合が、市内の平均と比較して目立って低い数字が出ていましたので、本校の重点課題として2年間にわたり取り組んできました。

機会あるごとに校長講話で子供たちに伝えるとともに、様々な学校行事や学級の活動のなかで、子供たちが自分のよさを見つけられる取組を進めてきました。また、榛西小だよりなどで保護者の皆さんとも課題を共有し、子供たちの良さをたくさん見つけて、いっしょに子供たちの自信と笑顔を育てていきたいと思います。

自己肯定感、自己有用感、自尊感情は、自分も人も大切にすること、人権感覚を育てる大切な感情です。榛原西小学校の児童にはどの子にもそれぞれの素晴らしいところがたくさんあります。自分のいいところを言えるようになれば、自信がついて、自分のことが好きになり、自分を大切にできるようになります。お友達のこと大切にできるようになります。今後も引き続き一人一人の心に働きかけて自己肯定感を育む取組を進めていきます。

2月の行事予定

日	曜	行 事
1	火	全校朝の会
2	水	クラブ活動
3	木	学習参観 学級懇談会 (中止)
4	金	みんなの広場
9	水	人権を確かめ合う日
15	火	Sカンセラー来校日
16	水	クラブ活動
17	木	なかま集会
18	金	みんなの広場 学校コミュニティー協議会 学校評議員会 PTA本部役員会
21	月	お話し会・ブツトーク
25	金	みんなの広場

諸費引落しのお願い

2月の諸費と給食費の引落日は、2月28日(月)です。年度末ですので2月と3月の2か月分の引落としとなります。口座の残高確認をよろしくお願いいたします。

学習参観・学級懇談会を中止します

先にメール配信でお知らせしたとおり、2月3日(木)に予定していました学習参観・学級懇談会は感染状況を考慮して中止します。

コロナ感染症の影響を受けて今年度は1度だけしか学習参観を行うことができず、申し訳なく思っています。

学習の様子を動画配信します

そこで、各学級の学習や発表の様子を御家庭で見ただけのように動画で配信をすることにしました。2月10日にタブレットを持って帰りますので、下記の期間中に御家族でご覧ください。

期 間 令和4年2月10日(木)～13日(日)
 タブレットのクラスルームから御視聴ください。

感染拡大を受けての対応について

保護者の皆さまには、日頃よりコロナウイルスの感染拡大防止に御協力いただきありがとうございます。校外の社会体育や学童保育などでの行動履歴も踏まえて登校判断をしてくださっていることにも感謝申し上げます。

学校でもこれまでの基本的な感染防止対策を徹底することを改めて確認し、実施しているところです。

第6波の広がり方が急で、感染率も高く、だれが感染してもおかしくはない状況です。児童に感染者が出た場合、学級・学校閉鎖などの措置が必要になりますが、その場合でも、感染した個人を決して責めたり差別してはならないということを皆で確かめ合いたいと思います。

また、御家族などに濃厚接触の可能性のある場合の児童の登校判断について、学校では一定の基準で対応していますが、状況の急激な変化により行政等の対応も日々変わってくる可能性がありますので御理解をお願いします。

日本の伝統文化を学ぶ

学習指導要領には、我が国や郷土が育んできた日本の伝統や文化を大切に学ぶことがうたわれています。伝統文化というと感じますが、私たちの暮らしは西洋化したとはいえ、言葉、暮らし、習慣、行事、すべて根底では日本文化に支えられていますね。

1月13日(木)、3年生が、音楽の時間に郷土の音楽「御杖村桃俣の獅子舞」のお囃子を体験しました。講師は、桃俣獅子舞保存会会員、校長の小関です。

本当は、太鼓、篠笛、チャップ、神楽鈴の楽器4種で囃すのですが、学校にある物を使って、締太鼓、リコーダー、図工室の灰皿、音楽室の鈴でお囃子のアンサンブルを作りました。

ドラソミ4音でリコーダー吹いたり、「テンツクテンツク」と口太鼓で膝打ちしたりしてから、4つの楽器に分かれて合わせれば、何と云うことでしょうか。本格的な郷土芸能のお囃子ができあがったではありませんか。



世界の文化を学ぶ

1月27日(木)、校区のサグン・テレシタ・コラドさんを6年生のゲストティーチャーとしてお招きし、フィリピンの文化を教えてくださいました。

授業は児童が考えた質問に答えていただく形式で進みました。日本に来て良かったことや苦労したことを気さくに語り、日本が大好きと陽気に話すコラドさんに、フィリピン人の大らかさ、たくましさを感じました。

日本人が日本文化を大切にするのと同様、世界中どの国の人たちも、自国の文化を大切にしていることを、子供たちは身をもって感じ取ったことでしょうか。世界の人と仲良くなれるのはとても豊かで幸せなことですね。



自国文化と国際理解、それに英語のことなど

英語を学ぶことはとても大切なことです。しかし、その目的が良い点数を取ることだけではもったいない。

英語を使って世界の人と交わり、世界の多様な文化を知ること、そして自らの文化も大切にできるようになることは、英語を学ぶ大切な目的のひとつです。

子供たちの成長を喜び合いたい

— 振り返りを次年度に活かす —

保護者アンケートへの御回答ありがとうございました。集計結果や御意見がまとまりましたら改めてお知らせします。次年度の教育計画の参考にさせていただきます。

さて、学校でも職員が様々な角度から本年度の振り返りを行っているところです。1月26日(水)には本年度の校内研究について振り返りました。本年度は「それぞれの違いや個性を認め合い、共に生きていこうとする児童の育成」というテーマを設定し、地域素材を教材開発するなど、人権教育の視点から研究を進めてきました。それぞれの学年でテーマに沿った授業や取組をし、特に11月には2年生と6年生の授業を先生方で参観し、研修を深めました(榛西小だより12月号参照)。

榛原西小学校の教育目標は、最初に「人権尊重の精神を基盤として」とうたっています。様々な人が様々なつながりながら暮らす社会のあり方を肯定的に感じ取れる社会観・世界観を一人一人の子供に育むことを目指しています。

様々な個性を持った子供たちが、共に生き生きと学ぶ学校にするため、教師としてどのように子供たちに働きかけてきたか、どのような役割を果たしてきたかを振り返り、そのことによって成長した子供たちの様子を共有しています。

2月3日節分 4日立春

まだまだ寒い日が続きますが、太陽の角度は一足先に春を迎えます。2月4日は立春。冬至と春分のちょうど中間で、この日から「暦の上では春」となります。立春の前日が節分。立春の頃を年初としていた旧暦の時代、節分は「年越し」と考えられていて、各地にいろんな風習が伝えられています。

家庭では炒り豆をまいたり、鰯の頭とヒイラギの葉の魔除けを玄関に挿したりしますね。宇陀市内には、豆の焦げ具合でその年の天候や作柄を占う集落もあるそうです。

家庭や地域で受け継ぐ昔からの習慣を大切にしたいですね。

